

---

# バッテリー充電制御ユーティリティの適用方法について

---

更新日：2019年2月13日

FUTRO シリーズ端末に、「バッテリー充電制御ユーティリティ」を適用する方法についてご案内します。

以下の手順で、充電制御の適用をお願いします。

※仮想環境でなく、実環境（ファットクライアント）で実行してください。

- 【1】USB メモリの準備
- 【2】内蔵フラッシュメモリへの書込保護機能の無効化
- 【3】バッテリー充電制御ユーティリティのインストール
- 【4】内蔵フラッシュメモリへの書込保護機能の有効化



## 【1】USB メモリの準備

以下のページを表示して「「バッテリー充電制御ユーティリティ」を適用する場合」の手順に従って、USB メモリにアップデートするソフトウェアを準備します。

・シンクライアント FUTRO シリーズをお使いの場合

URL： <http://www.fmworld.net/biz/fmv/support/information/batteryctrl/download.html>

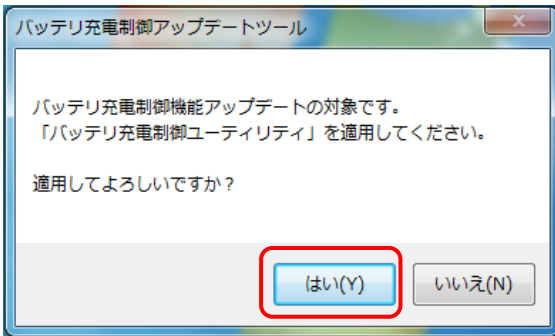
## 【2】内蔵フラッシュメモリへの書込保護機能の無効化

1. 管理者権限をもったユーザアカウントでサインインします。
2. 画面右下の通知領域にある  または （保護管理ツール）を右クリックし、「状態」をクリックします。
3. 「保護管理ツール」が起動します。  
「保護しています」が表示されていることを確認し、「EWF（Enhanced Write Filter）」をクリックし、「設定」ボタンをクリックします。
4. 「設定（EWF）」ウィンドウが表示されます。  
「保護を解除します」をクリックし、「OK」をクリックします。
5. 再起動を促すメッセージが表示され、「再起動する」をクリックし、本パソコンを再起動します。  
※再起動後に書込保護機能が無効になります。

### 【3】バッテリー充電制御ユーティリティのインストール

【1】で準備した USB メモリを使って、アップデートを適用します。

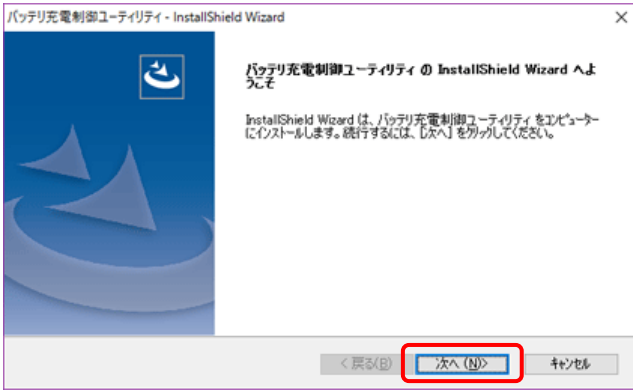
1. 管理者権限を持ったユーザアカウントでサインインします。
2. 「バッテリー充電制御ユーティリティ」がコピーされた USB メモリを差し込みます。
3. 「BatteryCtrlUtility」フォルダ内の、「Update.exe」をダブルクリックし、実行します。  
ユーザアカウント制御が表示された場合は「はい」または「続行」を選択してください。
4. バッテリー充電制御アップデートツールが起動し、判定結果を表示します。
5. 以下の画面が表示されますので、「はい」をクリックしてください。



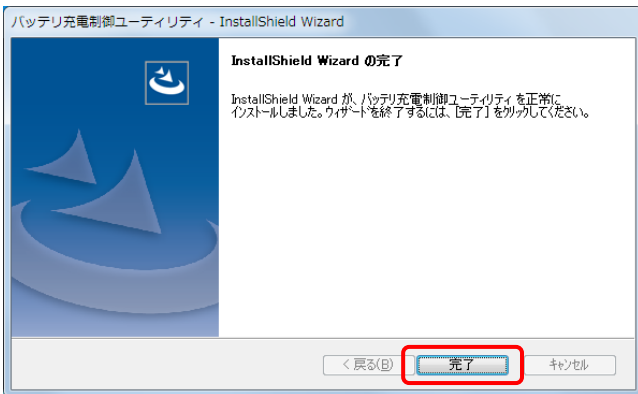
バッテリー充電制御ユーティリティの適用対象でない場合は、以下のメッセージが表示されます。

メッセージ内容	説明
バッテリー充電制御機能アップデートの対象です。 「BIOS 書換えデータ」のアップデートを適用してください。 アップデート後、パソコンは再起動、またはシャットダウンされます。適用してよろしいですか？	本ツールでは適用ができません。 ※「いいえ」をクリックして、画面を閉じてください。
バッテリー充電制御機能アップデートの対象です。 「コントローラー用ファームウェア」のアップデートを適用してください。 処理を中断します。	本ツールでは適用ができません。 ※「いいえ」をクリックして、画面を閉じてください。
既に適用済みです。 処理を中断します。	既にバッテリー充電制御ユーティリティがインストールされています。 インストールの必要はありません。 ※「OK」をクリックして、画面を閉じてください。
対象装置ではありません。 処理を中断します。	バッテリー充電制御アップデートの対象装置ではないため、インストールの必要はありません。 ※「OK」をクリックして、画面を閉じてください。

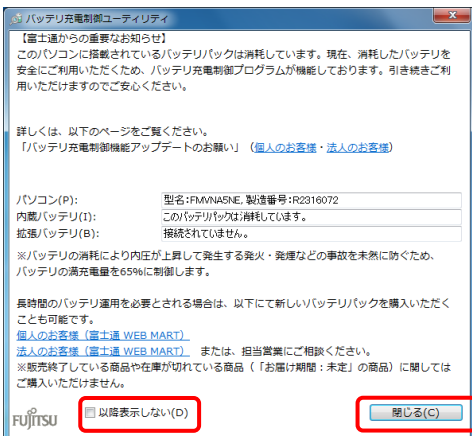
6. 「バッテリー充電制御ユーティリティ」のインストール画面が表示されますので、「次へ」をクリックします。



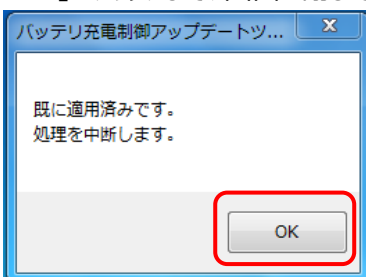
7. インストールが完了したら、「完了」をクリックしてインストール画面を閉じます。





8. インストール画面を閉じると、バッテリーのチェックが行われます。バッテリーが消耗している場合は、以下の画面が表示されます。この画面はサインイン時に毎回表示されますので、次回から表示しない場合は「以降表示しない」のチェックを入れて、「閉じる」をクリックしてください。



9. 確認のため再度「Update.exe」をダブルクリックし、実行します。  
10. 以下の画面が表示されたら、バッテリー充電制御ユーティリティがインストールされています。「OK」をクリックして、画面を閉じてください。



#### **【4】内蔵フラッシュメモリへの書込保護機能の有効化**

1. 管理者権限をもったユーザアカウントでサインインします。
2. 画面右下の通知領域にある  または  （保護管理ツール）を右クリックし、「状態」をクリックします。
3. 「保護管理ツール」が起動します。  
「保護していません」が表示されていることを確認し、「EWF（Enhanced Write Filter）」をクリックし、「設定」ボタンをクリックします。
4. 「設定（EWF）」ウィンドウが表示されます。  
「保護を設定します」をクリックし、「OK」をクリックします。
5. 再起動を促すメッセージが表示され、「再起動する」をクリックし、本パソコンを再起動します。  
※再起動後に書込保護機能が有効になります。

これで作業は完了です。